

跡路
場浦
石と東

見学コースの倒木撤去など

保存・活用へ 教育長に提言書

伊東市の宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会(森篤理事長)は20日、国史跡「江戸城石垣石丁場跡」・市

史跡「東浦路」の保存活用などについて高橋雄幸教育長に提言した。包括的な内容が5点、江戸城石丁場跡関連が3点の計8項目。

森理事長、理事の四宮和彦さん、会員の杉本憲也さんが市役所を訪れ、高橋教育長に提言書を手渡した。

包括的事項は、▽文化財保護法に規定する文化財保存活用地域計画策定の検討開始▽両史跡の文化的価値を損なわないため、御石ケ

沢・多賀地地区の開発を一層抑制・禁止できる戦略的な政策対応▽両史跡の見学コース上にある倒木の迅速な撤去、時間がかかる場合は一時的な通行禁止看板の設置―など。石丁

場跡関連は宇佐美海岸の海中調査の準備の検討―などを求めた。

高橋教育長は「提言を受け止め、できるところから進めていきたい。江戸城石垣石丁場跡は国史跡になり、伊

東の歴史・文化の中りしていきたいと強く心。保存活動をしっかり思っている」と話した。



高橋教育長(左端)に提言書の内容を説明する森理事長(右から2人目)ら＝伊東市役所